

中村設計新聞

第六十二号

九月十六日(土) 雨

おかげさまで
創立50周年

防災について考える



▲講義場所は27Fの見晴らしの良いところでした。

○はじめに
 今月の土曜研修は、九月が『防災月間』ということと、近年多発している都市型水害の防災設備を取り扱っている三和シャッター工業様のショールームに伺い商品説明と講義をして頂きました。

○スケジュール

午前
 設計監理研修
 勉強会

午後
 電車を乗り継いで
 天王寺へ

三和シャッター
 工業ショールーム
 (あべのハルカス)
 ・防水関連講義
 ・展示商品見学



▲ショールームの展示商品について詳しく説明していただきました。



▲晴天であれば、展望フロアからこんな絶景が見られるそうです。

浸水防止用設備の種類と特徴

持ち運びタイプ	据え付けタイプ				建具タイプ	その他
	土のう、水のう等	シート	止水板	壁取納型		
土のう、水のう	シート	止水板	壁取納型	床取納型	上部取納型	ハッチ型
土のう	シート	止水板	壁取納型	床取納型	上部取納型	ハッチ型
水のう	シート	止水板	壁取納型	床取納型	上部取納型	ハッチ型
土のう、水のう	シート	止水板	壁取納型	床取納型	上部取納型	ハッチ型

・特に地下空間では、避難経路の確保が困難で、電気設備等が地下にある場合が多く、浸水し機能停止する恐れがある等のリスクが考えられます。国土交通省より「地下街等における浸水防止用設備整備のガイドライン」が作成されています。



○勉強会 都市型水害対策
 ・都市型水害とは、大都市に発生する都市特有の水害のことを言います。
 ・都市型水害が深刻化している要因
 ① 集中豪雨の発生と激化・頻度増加
 ② 流域の保水・遊水機能の低下
 ③ 地下利用の高度化

○レポート

三和シャッター工業様には、休日でもあるにも関わらず、ショールームにて「都市型水害対策」を主題とした勉強会と商品に関する情報提供を頂きました。中でも止水を目的とした商品では、細部の仕組みにおけるの工夫などを知ることができました。

また、展示コーナーの商品は機能性や利便性の向上が一段と進んでおり、さらに多様なニーズにも応えるための商品開発も多々あることにも感心しました。昨今、水害や地震などが多発している中で、今後参考にしたいと思えました。

耳寄り情報の一つ。あべのハルカスは、2014年に完成した高さ300m(工作物の塔など除く)で、現在日本一高いビルです。ところが、2027年度には、東京駅前で計画されている高さ390mのビルが完成予定のため、あと10年余りで、その座を譲ることになります。



▲止水方法について詳しく説明していただきました。

○まとめ
 都市型水害における対策について勉強になったという所員が多く有意義な時間を過ごせました！
 改めて三和シャッター工業様に所員一同、御礼申し上げます。
 今後も最新の情報を積極的に取り入れ、設計に活かしたいと思っております。